



## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社セルシス 上場取引所 東  
コード番号 3663 URL <http://www.celsys.com>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 成島 啓  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 伊藤 賢（TEL） 03-6258-2904  
定時株主総会開催予定日 2026年3月30日 配当支払開始予定日 2026年3月31日  
有価証券報告書提出予定日 2026年3月31日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年12月期の業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

## （1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期	9,471	32.6	2,967	4.2	2,934	△1.7	1,681	74.4
2024年12月期	7,143	18.9	2,848	30.9	2,985	33.1	963	△28.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率 (ROE)	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年12月期	55.23	55.14	35.5	36.5	31.3
2024年12月期	30.47	—	16.1	35.5	39.9

（参考）持分法投資損益 2025年12月期 ー百万円 2024年12月期 ー百万円

（注）2024年12月期は個別決算での記載であり子会社（&amp;DG3）の損益を含みません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期	7,910	4,334	54.0	144.22
2024年12月期	8,156	5,264	63.7	168.21

（参考）自己資本 2025年12月期 4,273百万円 2024年12月期 5,195百万円

## （3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	2,616	△901	△3,022	4,039
2024年12月期	—	—	—	—

（注）2024年12月期は連結業績を開示しておりましたが、2025年12月期第1四半期より非連結での開示としております。そのため、2024年12月期のキャッシュ・フローの状況については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00	745	78.8	12.7
2025年12月期	—	22.00	—	14.00	36.00	1,085	65.2	23.0
2026年12月期(予想)	—	18.00	—	20.00	38.00		—	

## 3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	5,016	5.8	1,598	4.2	1,579	3.1	1,054	21.1	35.57
通 期	9,963	5.2	3,317	11.8	3,282	11.8	2,192	30.4	73.97

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期	36,271,180株	2024年12月期	36,271,180株
② 期末自己株式数	2025年12月期	6,639,764株	2024年12月期	5,385,381株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	30,434,791株	2024年12月期	31,623,179株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は、グローバルで拡大を続けるクリエイターエコノミー市場において、サービス・プラットフォームを開発・提供する事業を展開し、さらなる成長の実現を目指して、収益基盤と経営体制の強化に取り組んでおります。2023年のUI/UX事業の譲渡による構造改革、2024年の東証プライム市場への上場、そして2025年1月に行った子会社・株式会社&DC3の吸収合併を経て、次の成長に向けた経営体制の構築が完了し、「中期経営計画2025-2027」を策定いたしました。本中期経営計画においては、「クリエイションで夢中を広げよう」をビジョンに掲げ、クリエイターエコノミー市場において、作品をつくるクリエイターと、それらを楽しむオーディエンスの活動の道なり「CREATOR JOURNEY」をサポートするサービス提供を通じて「一人ひとりの夢がつながり、もっとカラフルな世界」の創造を目指してまいります。なお、中期経営計画では、期間中のROE30%以上を重要なKPIとして設定しております。

当事業年度より従来の事業セグメントを見直し、これまでイラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の開発・販売を中心とする「コンテンツ制作ソリューション事業」及び「DC3ソリューション」や「電子書籍ソリューション」から構成されていた「コンテンツ流通ソリューション事業」の2セグメントを、単一セグメントに統合いたしました。これにより、当事業年度からは前者を「クリエイターサポート分野」、後者を「クリエイタープラットフォーム分野」と再定義しております。

なお、当社は当期から非連結決算に移行しているため、損益状況については前期の連結数値と比較し、記載しております。

引き続き「CLIP STUDIO PAINT」の収益力をさらに強化しながら、事業領域をクリエイターエコノミー市場全体へと拡大し、制作ソリューションで築いたクリエイターからの信頼や強みと、流通ソリューションで蓄積した資産を活用することで、新たにクリエイタープラットフォーム分野でもサービスを開発・提供し、新たな事業の柱とすることを目指してまいります。

当事業年度におきましても、世界で通用する日本発のサブスクリプションモデルによるクリエイター向け創作サービスである「CLIP STUDIO PAINT」を核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力してまいりました。

「中期経営計画2025-2027」の初年度における当社の経営成績は、主力の「CLIP STUDIO PAINT」を中心に、堅調な事業推進の結果、売上高、営業利益等の主要な収益指標において 過去最高を更新し、持続的な成長基盤の確立と財務健全性を維持した経営を実現し、計画に対して順調に推移いたしました。

当事業年度の売上高は9,471,638千円（前期比15.4%増）、営業利益は2,967,854千円（同38.3%増）となりました。経常利益は、営業外収支として受取配当金21,291千円及び受取利息7,401千円を計上した一方で、自己株式取得手数料27,291千円及び為替差損34,475千円を計上したこと等により2,934,988千円（同28.8%増）となりました。当期純利益は、抱合せ株式消滅差益153,875千円を特別利益として計上した一方で、投資有価証券評価損480,307千円及び創業者功労金555,180千円を特別損失として計上し、法人税等397,745千円を計上したことにより、1,681,102千円（同20.1%増）となりました。2025年11月14日開示の通期業績予想修正に対する達成率は、売上高が102.3%、営業利益が102.3%となりました。

以上の結果、当事業年度の自己資本当期純利益率（ROE）につきましては、35.5%となり、中期経営計画で定めている重要なKPIであるROE30%以上を達成いたしました。

当社は、株主還元を重視しており、自己株式の取得については、2022年12月期に10億円、2023年12月期に20億円、2024年12月期に15億円、2025年12月期に20億円と、累計で65億円分を実施しております。あわせて、2025年12月期の1株当たり配当につきましては、プライム市場上場記念配当10円を含めた中間配当22円の実施と期末配当14円を予定しており、年間配当金は合計36円（前年より12円の増配）を見込んでおります。

分野別の売上高は、次のとおりです。

	前連結会計年度 金額（千円）	当事業年度 金額（千円）	増減率 （%）
クリエイターサポート （拡大フェーズの分野）	6,811,317	8,122,870	19.3%
クリエイタープラットフォーム （準備フェーズの分野）	1,393,641	1,348,768	△3.2%
合 計	8,204,959	9,471,638	15.4%

#### ＜クリエイターサポート分野＞

クリエイターサポート分野は、グラフィック分野で活動するクリエイターの創作活動をサポートする、イラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の提供を通じて、コンテンツの制作に関わるサービスをグローバルに展開しております。主力サービスである「CLIP STUDIO PAINT」は、累計出荷本数が2025年12月に5,957万本（前年同月比26.5%増）に、2026年1月には6,000万本に達しました。また、同アプリのサブスクリプションモデルによるソフトウェア提供のARR（年間経常収益）は、2025年12月に54億円（前年同月比25.4%増）となり、過去最高を更新しております。当社が注力している、「CLIP STUDIO PAINT」におけるサブスクリプションモデルでのライセンス提供は、利用開始時の価格が抑えられており、ユーザーの導入ハードルを下げる一方で、買い切りモデルに比べて短期的な収益性は限定的です。しかしながら、継続利用による中長期的な安定収益が見込めることから、今後も契約数の拡大に取り組んでまいります。なお、「CLIP STUDIO PAINT」の月次のチャーンレートは2025年12月末が4.6%となっております。「CLIP STUDIO PAINT」は世界11言語に対応しており、出荷の80%以上が日本語以外の海外市場向けです。引き続き、売上高及び利用者数の増加を目的に、英語、韓国語、ドイツ語、フランス語圏等はもちろんのこと、今後の成長期待が大きい、東南アジアや中南米地域の新興国に対するマーケティングや決済手段のローカライズ強化も進めてまいります。

当事業年度では、2025年3月に「CLIP STUDIO PAINT」の売上及びユーザー数の底上げを目的に、「CLIP STUDIO PAINT」のメジャーバージョンアップを実施し、Ver. 4.0の提供を開始しました。グローバルで提供開始したVer. 4.0は、多くの反響をいただき、当初計画を上回る売上実績となりました。なお、サブスクリプションモデルと並行して販売を継続している買い切りモデルのユーザーは、Ver. 4.0以降の最新機能を利用するためには、サブスクリプション契約、または、新バージョンの優待購入が必要となる提供モデルとしております。これにより、サブスクリプション契約の増加や、既存の買い切りモデルユーザーからの新バージョン購入により収益が伸長しました。また、同メジャーバージョンアップにあわせて、収益性の向上と継続的なサービス提供を実現することを目的に、買い切り版の価格を改定し、最大8%の値上げも行っております。今後も、定期的なメジャーバージョンアップとサービスの価値向上に応じた価格改定を行ってまいります。

#### ＜クリエイタープラットフォーム分野＞

「クリエイタープラットフォーム分野」では、「CLIP STUDIO PAINT」で培ったクリエイターからの信頼や強みと、流通ソリューションにおける資産を活用して、クリエイターエコノミー市場において、コンテンツの制作にとどまらない、より広い領域で、新たなクリエイターの活動の場となりうるサービス・プラットフォームの開発・提供・運営を行い、クリエイターの創作活動の活性化を図ると共に、事業の拡大を目指してまいります。

当事業年度では、クリエイターエコノミー市場におけるエコシステム、グローバルでの業界動向やサービスに関する調査を進めながら、新規プラットフォームサービスの企画・検討を推進してまいりました。現在、クリエイターのマネタイズを支援するプラットフォームおよび、グローバルでのユーザーコミュニティ強化のためのサービスについて2026年以降のリリースに向けた企画・開発を継続しております。あわせて、社内の配置転換を通じた人材の最適化で新規サービス開発に向けた組織体制の強化にも取り組んでおります。

また、従来より提供している、「CLIP STUDIO PAINT」の利用をサポートするコミュニティサービスの運営を行いながら、継続的な機能改善を実施して「CLIP STUDIO PAINT」のサブスクリプション契約者の継続利用率向上にも努めております。また、漫画家志望者と新たな才能を探すマンガ編集者のマッチングを支援するサービス「モチコミonline」等の運営や、機能改善アップデートを実施し、プラットフォームサービスの利用者数の増加に努めました。

なお、当社が提供するクリエイタープラットフォームサービスの全世界での利用者数は、1,100万人超え（前年同月比20.4%増）となりました。

### （２）当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、前事業年度末と比べて246,377千円減少し7,910,280千円となりました。この主な要因は、繰延税金資産が424,282千円、ソフトウェア仮勘定が229,817千円、前払費用が226,355千円、売掛金が145,302千円、貸倒引当金が93,344千円増加したものの、自己株式の取得等により現金及び預金が1,102,544千円、投資有価証券が95,838千円減少したこと等によるものであります。

当事業年度末の負債は、前事業年度末と比べて684,527千円増加し3,576,266千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が267,398千円減少したものの、役員退職慰労引当金が583,170千円、前受金が237,008千円、買掛金が63,186

千円、退職給付引当金が38,182千円増加したこと等によるものであります。

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べて930,905千円減少し4,334,014千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が639,397千円、その他有価証券評価差額金が387,449千円増加したものの、自己株式の取得により自己株式が1,965,443千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、54.0%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社は、当事業年度より非連結となったことから、前期の数値及びこれに係る対前期増減率等の比較分析は行っておりません。

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、4,039,786千円となりました。なお、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,616,170千円となりました。これは主として、法人税等の支払額1,089,956千円、その他127,843千円等の資金の減少要因があったものの、税引前当期純利益2,078,848千円の計上や減価償却費の計上677,504千円、創業者功労金555,180千円、投資有価証券評価損480,307千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、901,507千円となりました。これは主として、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出864,587千円、工具器具備品等の有形固定資産の取得による支出61,701千円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3,022,936千円となりました。これは主として、自己株式の取得による支出2,000,013千円や配当金の支払額1,042,882千円等があったことによるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当事業年度末残高は、4,039,786千円となりました。

### (4) 今後の見通し

当社は、「中期経営計画2025-2027」に則り、今後も事業を推進し、持続的な収益成長を目指してまいります。

「クリエイターサポート分野」では、引き続きグローバル展開の強化による新規ユーザーの獲得、若年層・ライトユーザーの取り込みによるユーザー拡大、ユーザーコミュニティの強化による継続利用率の向上を目指し、開発投資と、サブスクリプション契約の増加施策等を実施し、ARRの成長継続を目指してまいります。

「クリエイタープラットフォーム分野」においては、新プラットフォームサービスの開発・提供、また、クリエイター同士のユーザーコミュニティ強化のための新サービスの開発を行い、「クリエイターサポート分野」に次ぐ第二の収益基盤の構築、収益成長を目指してまいります。

以上のことから、2026年12月期の売上高につきましては9,963百万円、営業利益は3,317百万円、経常利益は3,282百万円を、当期純利益は2,192百万円を見込んでおります。また、自己資本当期純利益率(ROE)につきましては、40%以上を見込んでおります。なお、配当金につきましては、2025年12月期は東証プライム上場記念配当を含めた、年間合計36円を実施することとなりますが、2026年12月期の配当金はさらなる株主還元強化を目的に、中間配当金を18円、期末配当金を20円を実施し、年間合計38円と増配を予定しております。

なお、「中期経営計画2025-2027」につきましては、2026年12月期の業績を踏まえた「中期経営計画2025-2027(2025年度業績反映版)」を本日開示いたしましたので、併せてご参照ください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内外の諸情勢を考慮し、検討を進めていく方針であります。



## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,188,846	4,086,301
売掛金	220,827	366,130
製品	18,837	13,604
原材料及び貯蔵品	142,483	96,983
未収入金	323,374	458,341
前払費用	111,979	338,334
その他	45,704	—
貸倒引当金	△154	△93,499
流動資産合計	6,051,898	5,266,196
固定資産		
有形固定資産		
建物	185,650	187,599
減価償却累計額	△88,556	△102,273
建物（純額）	97,094	85,326
工具、器具及び備品	268,004	308,660
減価償却累計額	△219,441	△243,993
工具、器具及び備品（純額）	48,563	64,667
有形固定資産合計	145,657	149,993
無形固定資産		
特許権	24,273	33,423
商標権	33,632	33,613
ソフトウェア	905,316	918,689
ソフトウェア仮勘定	46,552	276,369
その他	31,796	18,878
無形固定資産合計	1,041,571	1,280,974
投資その他の資産		
投資有価証券	663,486	567,648
関係会社株式	44,915	10,056
敷金及び保証金	131,364	133,364
繰延税金資産	77,763	502,046
投資その他の資産合計	917,529	1,213,115
固定資産合計	2,104,759	2,644,083
資産合計	8,156,658	7,910,280

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,966	131,152
未払金	162,976	156,573
前受金	1,091,638	1,328,647
未払費用	74,199	76,029
未払法人税等	723,354	455,956
賞与引当金	64,064	70,499
その他	196,201	213,973
流動負債合計	2,380,401	2,432,831
固定負債		
役員退職慰労引当金	192,642	775,812
退職給付引当金	297,741	335,924
その他	20,953	31,698
固定負債合計	511,336	1,143,434
負債合計	2,891,738	3,576,266
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金		
資本準備金	2,500	2,500
その他資本剰余金	6,386,067	6,403,039
資本剰余金合計	6,388,567	6,405,539
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,741,289	4,380,687
利益剰余金合計	3,741,289	4,380,687
自己株式	△4,678,793	△6,644,237
株主資本合計	5,461,063	4,151,989
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△265,744	121,704
評価・換算差額等合計	△265,744	121,704
新株予約権	69,600	60,320
純資産合計	5,264,919	4,334,014
負債純資産合計	8,156,658	7,910,280



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,143,207	9,471,638
売上原価	2,253,365	3,669,305
売上総利益	4,889,841	5,802,333
販売費及び一般管理費	2,041,125	2,834,479
営業利益	2,848,716	2,967,854
営業外収益		
受取利息	4,253	7,401
受取手数料	2,230	—
受取配当金	37,932	21,291
為替差益	118,030	—
その他	—	1,089
営業外収益合計	162,447	29,781
営業外費用		
支払手数料	20,468	27,291
為替差損	—	34,475
割増退職金	3,818	—
その他	1,278	879
営業外費用合計	25,565	62,647
経常利益	2,985,598	2,934,988
特別利益		
新株予約権戻入益	9,280	—
抱合せ株式消滅差益	—	153,875
子会社清算益	139,510	—
その他	—	37,460
特別利益合計	148,790	191,335
特別損失		
減損損失	62,080	—
投資有価証券評価損	303	480,307
固定資産除却損	0	11,988
関係会社株式評価損	819,969	—
創業者功労金	—	555,180
子会社支援損	400,000	—
特別損失合計	1,282,353	1,047,475
税引前当期純利益	1,852,035	2,078,848
法人税、住民税及び事業税	729,226	822,028
法人税等調整額	159,020	△424,282
法人税等合計	888,247	397,745
当期純利益	963,788	1,681,102

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	3,076,576	2,326,576	994,884	3,321,460	3,541,816	3,541,816
当期変動額						
減資	△3,066,576	△2,324,076	5,390,653	3,066,576		
剰余金の配当					△764,315	△764,315
当期純利益					963,788	963,788
自己株式の取得						
自己株式の処分						
自己株式処分差益			530	530		
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	△3,066,576	△2,324,076	5,391,183	3,067,107	199,473	199,473
当期末残高	10,000	2,500	6,386,067	6,388,567	3,741,289	3,741,289

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△3,186,624	6,753,229	12,796	12,796	78,880	6,844,905
当期変動額						
減資		—				—
剰余金の配当		△764,315				△764,315
当期純利益		963,788				963,788
自己株式の取得	△1,499,934	△1,499,934				△1,499,934
自己株式の処分	7,765	7,765				7,765
自己株式処分差益		530				530
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			△278,540	△278,540	△9,280	△287,820
当期変動額合計	△1,492,169	△1,292,165	△278,540	△278,540	△9,280	△1,579,986
当期末残高	△4,678,793	5,461,063	△265,744	△265,744	69,600	5,264,919

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	10,000	2,500	6,386,067	6,388,567	3,741,289	3,741,289
当期変動額						
減資	—	—	—	—		
剰余金の配当					△1,041,705	△1,041,705
当期純利益					1,681,102	1,681,102
自己株式の取得						
自己株式の処分						
自己株式処分差益			16,971	16,971		
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	16,971	16,971	639,397	639,397
当期末残高	10,000	2,500	6,403,039	6,405,539	4,380,687	4,380,687

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△4,678,793	5,461,063	△265,744	△265,744	69,600	5,264,919
当期変動額						
減資		—				—
剰余金の配当		△1,041,705				△1,041,705
当期純利益		1,681,102				1,681,102
自己株式の取得	△2,000,013	△2,000,013				△2,000,013
自己株式の処分	34,570	34,570				34,570
自己株式処分差益		16,971				16,971
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			387,449	387,449	△9,280	378,169
当期変動額合計	△1,965,443	△1,309,074	387,449	387,449	△9,280	△930,905
当期末残高	△6,644,237	4,151,989	121,704	121,704	60,320	4,334,014

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前当期純利益	2,078,848
減価償却費	677,504
株式報酬費用	18,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	93,344
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,434
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	38,182
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,655
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△153,875
創業者功労金の支払額	555,180
受取利息及び受取配当金	△28,692
有形及び無形固定資産除却損	11,988
投資有価証券評価損益 (△は益)	480,307
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,182
棚卸資産の増減額 (△は増加)	50,734
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,955
その他	△127,843
小計	3,677,429
利息及び配当金の受取額	28,692
法人税等の還付額	4
法人税等の支払額	△1,089,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,616,170
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△3,601
有形固定資産の取得による支出	△61,701
無形固定資産の取得による支出	△864,587
関係会社株式の取得による支出	△10,056
投資有価証券の売却による収入	40,440
その他	△2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,507
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△2,000,013
配当金の支払額	△1,042,882
ストックオプションの行使による収入	19,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,022,936
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,308,273
現金及び現金同等物の期首残高	5,145,932
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	202,127
現金及び現金同等物の期末残高	4,039,786

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する情報)

当社は従来、「コンテンツ制作ソリューション事業」と「コンテンツ流通ソリューション事業」の2つの事業を報告セグメントとしておりましたが、当事業年度より単一セグメントに変更し、従来の「コンテンツ制作ソリューション事業」を「クリエイターサポート分野」、「コンテンツ流通ソリューション事業」を「クリエイタープラットフォーム分野」としております。この変更により単一セグメントとなることから、当事業年度のセグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	168.21円	144.22円
1株当たり当期純利益金額	30.47円	55.23円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	55.14円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	963,788	1,681,102
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	963,788	1,681,102
普通株式の期中平均株式数(株)	31,623,178	30,434,791
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	20,000
(うち新株予約権(株))	—	(20,000)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2021年8月6日開催の取締役会決議による第12回新株予約権 新株予約権の数 1,500個 (普通株式 150,000株)	2021年8月6日開催の取締役会決議による第12回新株予約権 新株予約権の数 1,300個 (普通株式 130,000株)

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,264,919	4,334,014
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	69,600	60,320
(うち新株予約権(千円))	(69,600)	(60,320)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,195,319	4,273,694
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	30,885,799	29,631,416

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。